

農産物に含まれる栄養性・機能性成分の研究

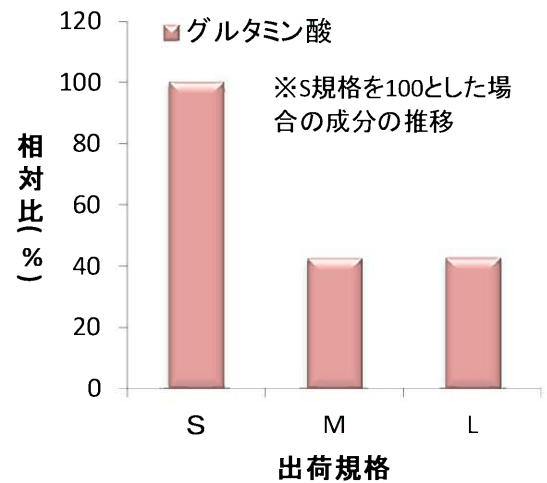
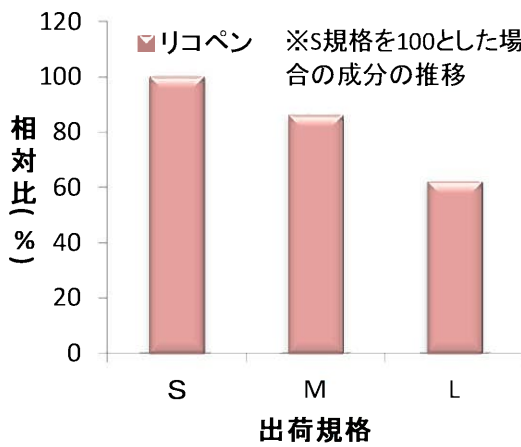
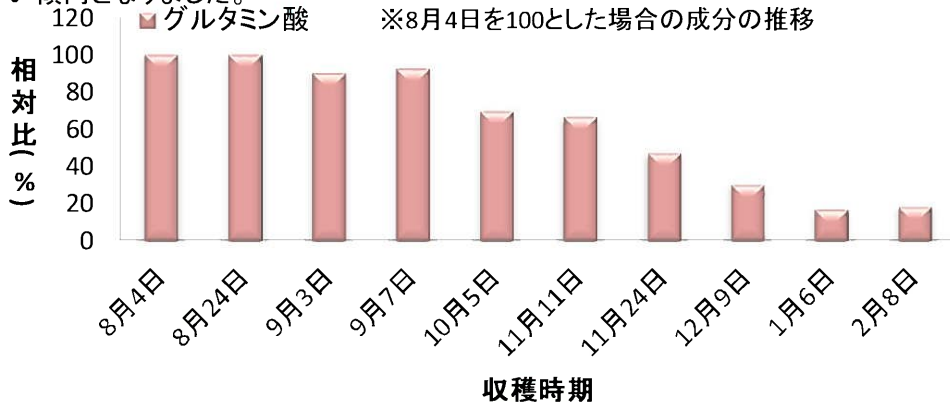
【研究のポイント】

県内の農業参入企業が栽培している農産物の栄養性・機能性成分の調査を行い、これら成分を安定・向上させる栽培技術の開発や農産物の高付加価値化に向けた取り組みを支援します。
特に、収穫時期や出荷規格(果実重)などが栄養性・機能性成分含量に及ぼす影響を明らかにしていきます。

【研究の成果】

＜栄養性・機能性成分含量の変動の明確化＞

メディアムトマトの果実重、Brix(%）、酸度、糖酸比、リコペン、アスコルビン酸、グルタミン酸、硝酸イオン含量の変動を明らかにし、グルタミン酸は秋期から厳寒期に向け減少傾向にあることが分かりました。また、出荷規格が小さくなるほど、硝酸イオンを除く調査した全ての成分含量が高い傾向となりました。



＜生産現場への普及＞

農産物の栄養性・機能性成分含量の数値化や、これら成分の安定・向上につながる栽培条件を明らかにするための支援を行います。

【生産者の声】

生産管理方法を検討することで、品質の安定化を図り、取引店舗との契約単価向上につなげ、有利販売の実現を目指していきたいです。

株式会社 大分和郷 中原 良祐 氏
近藤 文生 氏(中津市)



【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 土壌・環境チーム
TEL：0974-28-2072
住所：大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8